

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月6日
東

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 純
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,564	△12.1	△125	—	△151	—	△174	—
26年2月期第2四半期	6,332	△4.0	△25	—	△63	—	△64	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第2四半期	△34.49		—					
26年2月期第2四半期	△12.68		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	6,055	1,283	21.2
26年2月期	6,045	1,490	24.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,283百万円 26年2月期 1,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	△9.1	△10	—	△60	—	△130	—	△25.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	5,270,000株	26年2月期	5,270,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	218,981株	26年2月期	218,981株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	5,051,019株	26年2月期2Q	5,051,019株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年10月9日に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策により、円安の為替相場と株高を背景に、景気は回復基調にありましたが、消費税増税後の駆け込み需要の反動減が大きく、豪雨災害の多発など天候不順も重なり、依然として消費の環境は不透明な状況が続いております。

雑貨業界におきましても、比較的廉価でカワイイ小物雑貨を扱う当社のような業態は、増税やエネルギーコストの上昇が家計を圧迫して直接消費マインドを低下させる等、厳しい経営環境におかれております。

このような経済環境のもと、当社におきましては中期経営計画『CHALLENGE50』の初年度にあたり、前期までの売上不振を、新商品開発と品揃え改善の遅れによるものと帰結し、『Passport』ブランドの再生に向けて全社をあげた『MDリフォーム(品揃え改革)』に取り組んでおります。直輸入商品のPB(プライベートブランド)商品開発では、当社のオリジナル商品を通して、お客様に「かわいい生活」、「やさしい生活」をはじめの提案をしております。また、ブロック長によるNB(ナショナルブランド)商品仕入では、そのデザインやコンセプトを守りつつ、マーケットに合った品揃えを拡充させて、パーソナルギフトにも最適な、幅広いインテリアライフ雑貨の品揃えを目指しております。当第2四半期累計期間では、このような新しい考え方で、商品開発と店舗の品揃え改革、そしてスタッフ全員の意識改革に邁進してまいりました。

店舗開発につきましては、新規出店を抑制し既存店売上高の回復に注力すると共に、直営店5店舗で改装を実施し、不採算店6店舗を閉鎖しました。その結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は直営店153店舗、FC店15店舗の計168店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,564百万円(前年同四半期比12.1%減)、営業損失125百万円(前年同四半期は25百万円の営業損失)、経常損失151百万円(前年同四半期は63百万円の経常損失)、四半期純損失174百万円(前年同四半期は64百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

【資産】

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて10百万円(0.2%)増加し、6,055百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて141百万円増加し、3,379百万円となりました。これは、主に商品が95百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が243百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて131百万円減少し、2,675百万円となりました。これは、主に退店等により有形固定資産が54百万円、敷金及び保証金が64百万円減少したことによるものであります。

【負債】

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ216百万円(4.8%)増加し、4,771百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて53百万円増加し、2,924百万円となりました。これは、主に短期借入金が270百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が176百万円、1年内償還予定の社債が70百万円、1年内返済予定の長期借入金が33百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて163百万円増加し、1,846百万円となりました。これは、主にリース債務が36百万円減少したものの、社債が75百万円、長期借入金が147百万円増加したことによるものであります。

【純資産】

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて206百万円(13.9%)減少し、1,283百万円となりました。

これは、主に35百万円の配当による減少と四半期純損失174百万円の計上により、利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ25百万円（2.5%）増加し、1,033百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の増加は59百万円であり、前年同四半期に比べ2百万円（3.7%）の収入減となりました。

これは、税引前四半期純損失173百万円の計上と売上債権の増加243百万円等の支出はあったものの、減価償却費の計上125百万円、たな卸資産の減少86百万円、仕入債務の増加176百万円等の収入によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動による資金の増加は19百万円であり、前年同四半期に比べ59百万円（前年同四半期は39百万円の支出）の収入増となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出48百万円等はあったものの、敷金及び保証金の回収による収入97百万円によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金の減少は53百万円であり、前年同四半期に比べ139百万円（前事業年度は86百万円の収入）の支出増となりました。

これは、長期借入金250百万円や社債の発行341百万円の収入はあったものの、短期借入金の減少270百万円、長期借入金の返済68百万円、社債の償還205百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年9月1日に発表いたしました「業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<p>(遵守事項)</p> <p>当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく60,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。これらの条項に抵触した場合、当該債務の一括返済を求められる可能性があります。</p> <p>(1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を平成21年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること。</p> <p>(2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること。</p> <p>(3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと。</p>

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,673	1,033,925
受取手形及び売掛金	396,969	640,524
商品	1,577,985	1,482,490
未着商品	6,888	15,957
その他	246,896	206,323
流動資産合計	3,237,414	3,379,220
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	531,153	508,799
工具、器具及び備品(純額)	199,276	167,013
その他	15,554	15,554
有形固定資産合計	745,983	691,367
無形固定資産	192,283	168,007
投資その他の資産		
破産更生債権等	14,315	6,399
敷金及び保証金	1,641,833	1,577,317
その他	226,702	239,168
貸倒引当金	△13,523	△6,399
投資その他の資産合計	1,869,327	1,816,486
固定資産合計	2,807,595	2,675,861
資産合計	6,045,009	6,055,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,490,477	1,667,453
1年内償還予定の社債	370,000	440,000
短期借入金	354,980	84,980
1年内返済予定の長期借入金	94,600	128,000
リース債務	84,266	79,089
未払法人税等	24,389	22,839
賞与引当金	44,920	21,930
その他	407,731	480,233
流動負債合計	2,871,365	2,924,526
固定負債		
社債	865,000	940,000
長期借入金	160,700	308,500
リース債務	129,720	92,935
退職給付引当金	254,096	254,686
資産除去債務	163,094	161,713
その他	110,579	88,859
固定負債合計	1,683,190	1,846,695
負債合計	4,554,555	4,771,221

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	292,300
利益剰余金	883,233	673,683
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	1,484,247	1,274,696
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,206	9,164
評価・換算差額等合計	6,206	9,164
純資産合計	1,490,453	1,283,860
負債純資産合計	6,045,009	6,055,082

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	6,332,778	5,564,432
売上原価	3,201,053	2,773,190
売上総利益	3,131,724	2,791,241
販売費及び一般管理費	3,157,409	2,916,661
営業損失(△)	△25,685	△125,419
営業外収益		
受取利息	144	119
受取配当金	211	238
破損商品等弁償金	280	74
保険配当金	134	2,307
雑収入	917	2,567
営業外収益合計	1,687	5,308
営業外費用		
支払利息	13,670	14,858
社債発行費	11,128	7,680
支払手数料	7,789	6,213
為替差損	6,246	2,830
雑損失	576	155
営業外費用合計	39,410	31,736
経常損失(△)	△63,408	△151,848
特別損失		
固定資産除却損	7,353	568
店舗閉鎖損失	5,841	14,864
減損損失	—	6,700
特別損失合計	13,194	22,133
税引前四半期純損失(△)	△76,602	△173,981
法人税、住民税及び事業税	14,700	14,500
法人税等調整額	△27,280	△14,288
法人税等合計	△12,580	211
四半期純損失(△)	△64,022	△174,193

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△76,602	△173,981
減価償却費	141,802	125,722
減損損失	—	6,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,320	△22,990
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,970	590
受取利息及び受取配当金	△355	△358
支払利息	13,670	14,858
社債発行費	11,128	7,680
店舗閉鎖損失	5,841	14,864
固定資産除却損	7,353	568
売上債権の増減額(△は増加)	△208,919	△243,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,928	86,426
仕入債務の増減額(△は減少)	192,724	176,976
その他	68,078	95,620
小計	174,301	89,123
利息及び配当金の受取額	355	358
利息の支払額	△13,388	△15,153
法人税等の支払額	△99,995	△15,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,272	59,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,623	△48,528
敷金及び保証金の差入による支出	△32,047	△1,709
敷金及び保証金の回収による収入	66,090	97,351
その他	△22,354	△27,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,934	19,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	△270,000
長期借入れによる収入	—	250,000
社債の発行による収入	488,314	341,935
長期借入金の返済による支出	△57,700	△68,800
社債の償還による支出	△235,000	△205,000
リース債務の返済による支出	△41,287	△41,962
割賦債務の返済による支出	△27,239	△24,083
配当金の支払額	△50,237	△35,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,849	△53,052
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	108,188	25,251
現金及び現金同等物の期首残高	844,091	1,008,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	952,280	1,033,925

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。